

**【表紙】**

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成31年2月13日
【会社名】	カドカワ株式会社
【英訳名】	KADOKAWA DWANGO CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松原 真樹
【本店の所在の場所】	東京都千代田区富士見二丁目13番3号
【電話番号】	03(3549)6370(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 沖野 総司
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区銀座四丁目12番15号 歌舞伎座タワー
【電話番号】	03(3549)6370(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 沖野 総司
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1【提出理由】

当社は、平成31年2月13日開催の取締役会において、平成31年4月1日を効力発生日として、当社の子会社管理事業の一部を当社連結子会社である株式会社KADOKAWA（以下「KADOKAWA」）へ会社分割（吸収分割）の方法により承継することを決議しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第7号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

## 2【報告内容】

### 1. 当該吸収分割の相手会社に関する事項

#### (1) 商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号 : 株式会社KADOKAWA  
本店の所在地 : 東京都千代田区富士見二丁目13番3号  
代表者の氏名 : 代表取締役社長 松原 真樹  
資本金の額 : 29,210百万円（平成30年3月31日現在）  
純資産の額 : 89,927百万円（平成30年3月31日現在）  
総資産の額 : 166,180百万円（平成30年3月31日現在）  
事業の内容 : 出版事業、映像事業、著作権事業、デジタルコンテンツ事業等

#### (2) 最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益

決算期	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期
売上高（百万円）	110,813	112,231	113,183
営業利益（百万円）	2,706	3,936	2,629
経常利益（百万円）	4,085	5,408	4,104
当期純利益（百万円）	3,629	5,174	3,567

#### (3) 大株主の名称及び発行済株式の総数に占める大株主の持株数の割合

カドカワ株式会社 100%

#### (4) 提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係：当社がKADOKAWAの発行済株式の100%を保有しています。

人的関係：当社の代表取締役社長である松原真樹がKADOKAWAの代表取締役社長を兼務しております。

取引関係：当社は、KADOKAWAに対し、経営指導や経理業務等のシェアードサービスの提供等を行っており、それに伴い同社より経営指導料等を受け取っております。

### 2. 本分割の目的

当社は、平成26年10月にKADOKAWAとドワンゴによる共同株式移転により、両社の完全親会社として設立されました。設立以来、あらゆるコンテンツの価値を高めるプラットフォームとしての飛躍を目指し、出版から総合メディア企業を目指すKADOKAWAのIP創出力と、ネットとリアルな融合を目指すドワンゴの創造性を結集しながら、魅力あるコンテンツをあらゆるメディアにマルチ展開させて収益を最大化させるメディアミックス戦略を積極展開してまいりました。

当社グループの事業領域における市場環境は急速に変化しておりますが、出版事業においては、電子書籍・電子雑誌が成長しており業績は堅調に推移しております。映像・ゲーム事業においても、国内外を問わず豊富なIPを活用したビジネス展開を拡大させております。

一方、ドワンゴが事業主体となるWebサービス事業においては、競争環境の激化等により近年業績が低迷しております。平成31年3月期においては、ドワンゴが提供する動画サービス「niconico」の回線強化や画質向上を中心とした動画・生放送サービスの視聴環境改善を進め、新バージョン（く）（読み方：クレッシェンド）や、生放送アプリ「nicocas」をリリースしたほか、VRコミュニケーションサービス「バーチャルキャスト」のリリースや3Dアバター作成アプリ「カスタムキャスト」におけるアイテム課金の導入など、収益拡大に向けた施策を積極的に進めておりますが、投資が先行する中、いまだ業績貢献には至っておりません。また、Webサービス事業及びゲーム事業において大きな業績貢献を見込んでいた位置情報ゲーム「テクテクテク」においても、そのゲームクオリティはユーザーから高い評価を得ているものの、収益貢献が期待値を大きく下回りました。

そこで当社は、グループのさらなる融合を図りドワンゴの新たな創業を成すための体制を整えることがグループ全体の喫緊の経営課題であると認識し、この経営課題に対処すべくグループ経営体制を速やかに刷新することが、企業価値向上実現に不可欠であるとの判断に至りました。具体的には、平成31年4月1日付で、当社の子会社管理事業の一部を

吸収分割によりKADOKAWAへ承継させ、ドワンゴ、株式会社Gzブレイン（以下、「Gzブレイン」）、株式会社大百科ニュース社（以下、「大百科ニュース社」）をKADOKAWAの完全子会社とします。

KADOKAWAは、グループ最大規模の子会社として、堅固な財務体質を有し、出版、映像、ゲーム等の豊富なコンテンツを活用したIP事業を国内外で推進しているほか、その直接子会社において電子書籍サイト「BOOK WALKER」、デジタル映画前売券サービス「ムビチケ」などのコンテンツ業界有数のデジタルプラットフォーム事業も展開しております。また、近年では、ドワンゴのITエンジニアの力を活用し、ICT（情報通信技術）分野の業務革新や、新しいコンテンツプロモーションプラットフォームの開発を開始しています。今後は、KADOKAWA主導のもと、ドワンゴの技術力と膨大なユーザー基盤のグループ全体での活用を加速するとともに経営資源の最適配分を進め、グループとして強固な経営基盤を確立し、持続的な成長と中長期的な企業価値向上の実現を目指してまいります。

### 3. 本分割の方法、本分割に係る割当ての内容及びその他本分割に係る吸収分割契約の内容

#### (1) 本分割の方法

当社を吸収分割会社とし、KADOKAWAを吸収分割承継会社とする吸収分割であります。

#### (2) 本分割に係る割当ての内容

本分割は、当社と当社100%子会社との間で行われるため、本分割によるKADOKAWAから当社への株式の割当てその他対価の交付はありません。

#### (3) その他本分割に係る吸収分割契約の内容

##### 分割の日程

吸収分割契約承認取締役会決議日 平成31年2月13日

吸収分割契約締結日 平成31年2月13日

吸収分割予定日（効力発生日） 平成31年4月1日

（注）本分割は、会社法第784条第2項の要件を満たすため、同項に基づき簡易分割により、当社株主総会の決議による承認を得ずに行います。また、本分割は、KADOKAWA株主総会の決議による承認を得ずに行います。

##### 承継する権利義務

KADOKAWAは、本分割により、本分割の効力発生日における当社の子会社管理事業のうち、ドワンゴ、Gzブレイン及び大百科ニュース社の経営管理事業に関して有する権利義務を承継いたします。

#### (4) 本会社分割の後の吸収分割承継会社となる会社の商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号 : 株式会社KADOKAWA

本店の所在地 : 東京都千代田区富士見二丁目13番3号

代表者の氏名 : 代表取締役社長 松原 真樹

資本金の額 : 29,210百万円

純資産の額 : 未定

総資産の額 : 未定

事業の内容 : 出版事業、映像事業、版權事業、デジタルコンテンツ事業等

以上